

いけだ駅前未来について、みんなで考えてみた件。



# いけだまちづくり 「未完成」ビジョン

## いけだ駅前 未来ビジョン Vol.0



官民連携まちなか再生推進事業として、市民、地元の事業者や商店主、学生、まち会社やNPO、市職員などの有志で構成する「いけだエリアプラットフォーム」が、これからの池田駅前の活性化に向け、「いけだまちづくり「未完成」ビジョン」を策定しました。

問 都市政策課 ☎754・6262

## いけだ駅前未来ビジョンについて

本ビジョンは、

- ① 現時点でみんながめざす「いけだ駅前の将来像」を示す
- ② 完成後も新たな市民がビジョンの作成に参加できるプロセスを残す
- ③ まちづくりの進歩に合わせ、常に更新され進化するビジョンを作る

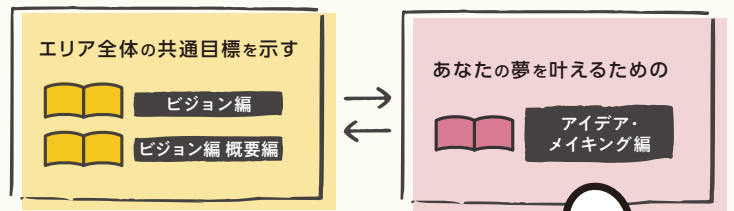
という3つの視点で策定しています。

まちづくりは目標があっても終わりはありません。市民みんなの想いを紡ぎながら活動するプロセスそのものがまちづくりなのだ、そんな思いを込めて「未完成」ビジョンと名付けました。

本ビジョンは、エリア全体の共通の目標を示す「ビジョン編」と、個々のビジョン(夢)を叶えるための「アイデア・メイキング編(ワークブック)」で構成しています。



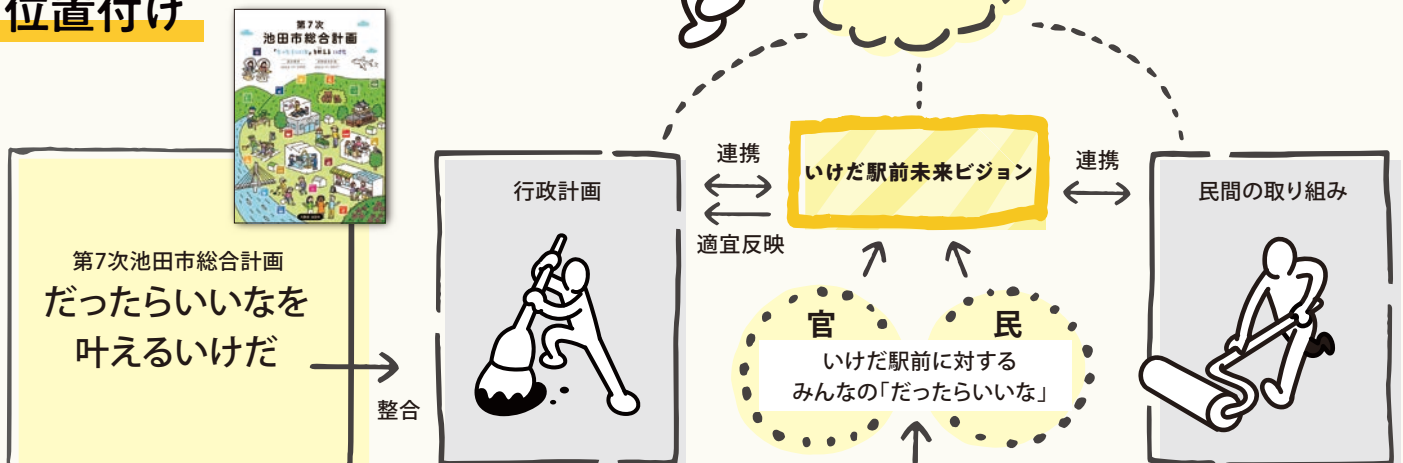
ビジョン編を踏まえて検討



みんなの意見をビジョン編に反映



## いけだ駅前未来ビジョンの 位置付け

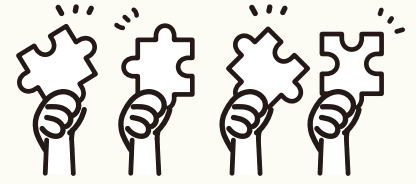


「まちなかの魅力づくり」「官民連携」の取り組み

## みんなで考えた将来像

さまざまな主体が関わりあい、それぞれの「だったらいいな」を重ね合わせることで、「ひととまちと自然がゆるやかに繋がり過ごしたくなるいけだ駅前」という将来像が導き出されました。

『ひととまちと自然がゆるやかに繋がり  
過ごしたくなるいけだ駅前』



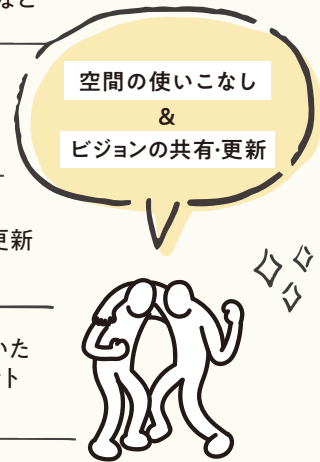
## 将来、池田駅前は こんなふう「なったらいいな」



## 池田駅前がもっと魅力的になるロードマップ

池田駅前の将来像を実現するため、「駅まち空間の利活用」と「まちなか拠点での交流促進」を進めながら「未来ビジョンの共有・更新」を図り、ビジョンを日々進化させていきます。エリアプラットフォーム（エリプラ）も、まちづくりの中心的役割を担っていけるよう体制を整えていきます。

	短期（～3年） 2023～2025年 暫定活用・実証期	中期（5～10年程度） 2026～2035年 マネジメント開始期	長期（20年先） 2036～2042年 マネジメント運用期
<b>駅まち空間の利活用</b>	せせらぎモール再整備 駅前空間の利活用 社会実験など	駅まち空間利活用の促進 駅前商業施設のリニューアルなど	空間の使いこなしとマネジメント 駅前の再々開発など
<b>まちなか拠点での交流促進</b>	ポケットパーク前での仮拠点づくり、交流拠点整備など	空き家・空き店舗の活用など	まちづくりの担い手確保
<b>未来ビジョンの共有・更新</b>	webプラットフォームの開設 個々のビジョンを収集	未来ビジョンのバージョンアップ	未来ビジョンの更新
<b>エリプラのあり方</b>	ステークホルダーのゆるやかな集まり	自立・自走した組織 (エリプラ内に都市再生推進法人を組成など)	ビジョンに基づいたエリアマネジメント主体として活動

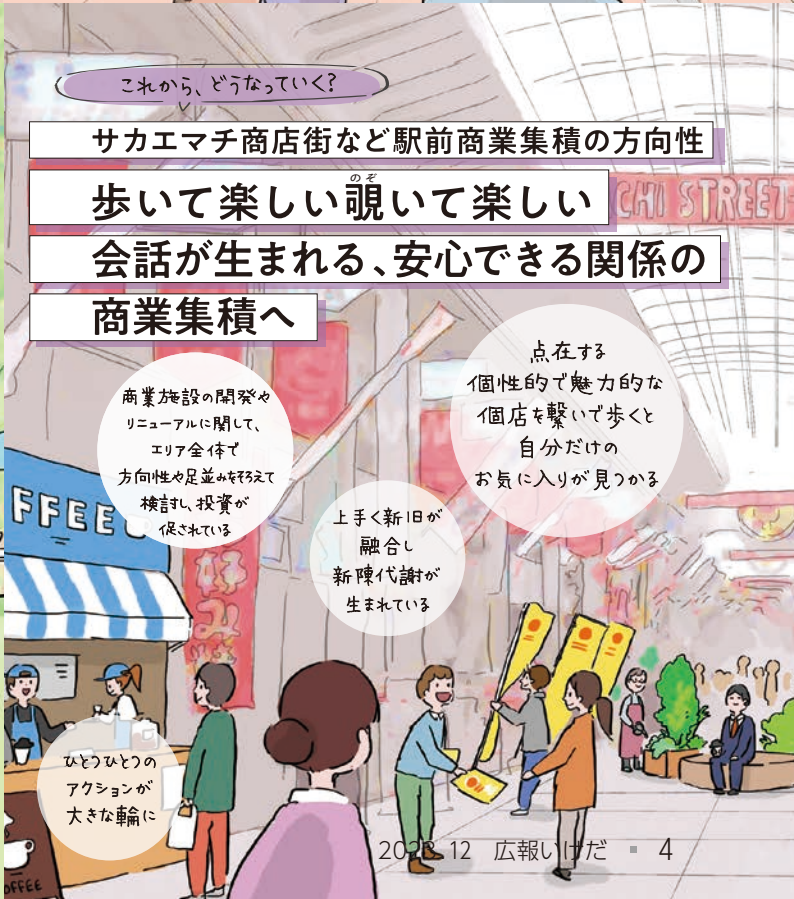




## 4つの空間の使いこなしイメージ

せせらぎモールを中心とした「駅まち空間の利活用」と、さくら通りのポケットパークや池田駅前公園、商業施設などの「まちなか拠点での交流促進」の将来イメージを具体化しました。

社会実験イベント「おさんぽマルシェ in IKEDA」で空間の利活用や交流促進のアイデアを実証し、将来イメージの検証を重ねながら、着々と空間を使いこなしていき、池田駅前エリアの魅力や価値を高めていきます。





池田の駅まち空間の未来を、みんなで考える拠点ができました！



いけだまちなカラボ  
**SUBACO**

produced by いけだエリアプラットフォーム

駅まち空間をテーマに市民が交流し、「いけだまちづくり「未完成」ビジョン」を共有・更新する場所として、「いけだまちなカラボ SUBACO (スバコ)」ができました。「おさんぽマルシェ in IKEDA」などの社会実験の事務局としてだけでなく、今冬からは「まちづくり相談窓口」や、あなただけの「ビジョン」を作るためのフィールドワーク、エリアプラットフォーム(エリプラ)メンバー発案企画などを本格実施していきます。ぜひお立ち寄りください！

## SUBACOの4つの使い方



### ① ハブ(基地)として

駅前と五月山の中間地点にある立地を生かした、駅まち空間の基地としての使い方

### ② イベント会場として

いけだエリアプラットフォームのメンバーが発案するさまざまなイベントや企画の会場としての使い方

### ③ 社会実験の事務局として

おさんぽマルシェ in IKEDAなど、駅まち空間を官民連携で考える社会実験の事務局としての使い方

### ④ 憩いの場所、話をしに来られる所として

近隣にお住まいの方が普段集える憩いの場所、交流の場所としての使い方

## SUBACOは、みなさんのご協力によってできました！



8月5日(土)、6日(日)に行った「夏休み DIYやろう会」に参加されたご家族やエリプラメンバー、地域のステンドグラス作家、大工の皆さんによって清掃やペンキ塗りが行われ、SUBACOができました。

## SUBACOに関わるには？



### ・「オヤドリ」(日替わり管理人)として

まちづくりの相談窓口としてご活躍いただくSUBACOの日替わり管理人を「オヤドリ」と名付けました。月ごとの希望シフト制で、1日からの関わりでOK！開錠、施錠は事務局がフォローします。

### ・「ヒナドリ」(プレイヤー)として

エリプラに入って、駅まち空間で何かしたい人を「ヒナドリ」と名付けました。あなただけの「未完成ビジョン」を作ってみるところから一緒にスタート！SUBACOで開催する交流会や成果発表会で仲間を増やし、あなたやみんなのビジョンを実現させましょう！

詳しくはエリプラ  
webサイトへ

令和5年12月末オープン予定！



**SUBACO** produced by いけだエリアプラットフォーム

場 栄本町11-8 問 都市政策課 ☎ 754・6262

✉ ekimachi.ikeda@gmail.com



池田駅前の魅力を見つめるフィールドワーク『あなただけの「いけだまちづくり「未完成」ビジョン」をつくろう』実施時の様子



お披露目会の様子